

幼童繪解運動  
養生論說示圖

毎日教授り朝九時より  
始り十二時終る中食と  
して又午後二時より五時迄を限ると  
昔古中の最も嚴

或ハ眼見を  
言語と云ふもの如きも皆  
夫々の業と與ふ然きども  
其間休息の時間なりて  
必<sup>おまか</sup>に遊園や設け花木と  
植流川と引築山を拵ら<sup>あそび</sup>遊戯  
奔走<sup>ひま</sup>地と<sup>ひま</sup>休の間は皆<sup>ひま</sup>なり

出<sup>い</sup>或ハ綱渡り 或ハブランコ

或ハ輪と廻<sup>まわ</sup>鞠<sup>ま</sup>或ハ投げ

或ハ運動<sup>うご</sup>或ハ本と建<sup>た</sup>

耀<sup>あ</sup>富<sup>と</sup>國<sup>こ</sup>輝<sup>こ</sup>寫<sup>し</sup>



教草 1冊 本別9-25 -00 054



出て或ハ綱渡り 或ハランゴ  
 或ハ輪と廻一鞠或ハ投げ  
 四肢と運動一此体と健康  
 是とジムナスチックといふ  
 又此遊びと教ふる先生  
 何れも子供ハおもしろい  
 此礼を賜ふむ故に  
 苦學すといふも其身  
 健康なり  
 現今ハ大抵此法試用るま  
 ども往古の讀書人ハ只勉強  
 せよ乃そと知る養生とせよ  
 ゆゑ大抵  
 身体脆弱  
 勇なく無用な人と  
 されり

